

NAVIGATION

— 進路指導部便り — 第4号 2022年7月20日

発行 夢野台高等学校
進路指導部

夏季休業にあたって

明日から夏季休業に入ります。この40日が受験生にとって重要であることは言うまでもありません。

下記を参考に、2年生・1年生にとっても、有意義な40日になるよう、自己管理に努めてください。

1 計画を立てて、実行する

夏休みなどの長期休暇は、学校生活がある普段よりも、自分の計画通りに生活できる時間が圧倒的に多くあります。ですので、積極的に計画をたて、自分の為になる休暇を過ごしましょう。計画の立て方としては、「無理がない、無駄がない」ことを目標にすると良いでしょう。計画を立てるとなると、すごく張り切って過密なスケジュールを立てたり、現実的に継続が難しいスケジュールを組んだりする人がいますが、それでは続きませんので、自分にとって「無理のない」スケジュールを立てましょう。しかし、「無理のない」が「自分に甘い」ということにならないように注意しなければなりません。

さて、勉強計画の立て方として、次の2つのパターンが考えられます。

①勉強量で予定を立てる。

②時間で区切って予定を立てる。

それぞれにメリット・デメリットがあります。

①は、例えば「12章からなる教科書の内容を1日1章ずつ理解する」というような計画です。何時間かかろうと、計画が消化できるまでその内容をずっとやり続けることとなります。メリットとしては、徹底的にやることにより、やったことの定着や深い理解、さらには達成感も得られます。逆に、デメリットとしては、すべてを

バランス良く勉強することは難しく、ある科目や分野に偏ってしまうことです。12章を12日でやってしまおうとせず、1週間のうち1日の予備日を設けるなどして、調整していくことも必要です。①はどちらかという、3年生におすすめです。

②は、バランスという点では非常によい計画です。また、見通しが立ちやすいと言えます。したがって、こちらは部活動をしている1・2年生におすすめです。デメリットとしては理解度に関係なく時間は過ぎるので、成果を無視してやったつもりになってしまうことです。

どちらを選ぶかは本人次第ですが、まとまった時間がある夏季休業中は①のチャンスかもしれません。とにかく自分でしっかり考え、計画的に勉強をしましょう。

2 基礎の定着と苦手科目の克服

まとまった時間があるので、基礎の定着と苦手科目の克服を心がけましょう。

3年生にとっては受験勉強の基礎固めになります。1・2年生にとってはそれとともに、2学期の準備にもなります。

3 「集中できないとき」の対処方法

夏休みは、約40日もの期間があります。勉強に集中できない日もあるでしょう。そんなときは、勉強内容を「単純作業（暗記）」系の勉強に切り替えるのも一つの方法です。そして、読解などの根気が必要なものは、自分の調子が上がる時間帯に取り組みと効率よく勉強できます。勉強の仕方にも個性があります。自分に適した勉強法を見つけてください。

決めたことを貫く意志の強さとともに、状況に応じて臨機応変に対応する柔軟さも必要で、その使い分けが大切です。

4 主体的に能動的に

夏季休業中は、学校でも補習があります。「受けて良かった」と思える結果を導くためには、補習の後に必ず復習を行い、定着させましょう。また、学校から出ている課題についても、課題をもとに、その分野に対する理解を深めていくという積極姿勢で取り組み、成果が上がるはずで

特に3年生に向けて

1 三者面談に向けての準備を！

三者面談を有意義なものにするために、あらかじめ家族会議を開くなどして、準備をしておいてください。特に、総合型選抜や学校推薦型選抜の受験を考えている人は、面談の際に必ずその旨を担任の先生に伝えてください。

2 一般入試を念頭においた勉強を！

6月模試や7月模試はひとつの通過点です。判定を気にして、あきらめる必要はありません。現役生は最後の最後まで伸びます。これは確実です。推薦入試は確かに手段の1つではありますが、現役生が受験の前日どころか当日まで伸びることを考えると、やはり2月・3月の一般入試が基本となります。

3 志望校に足を運んでモチベーションを上げよう！

昨年・一昨年は対面でのオープンキャンパスがほとんど実施されませんでした。前述の予備日などを上手く利用して、志望校へ足を運んでみてください。必ず何らかの感動が得られます。そして、来年の4月にはその場に自分がいることを強くイメージしましょう。成功のイメージを強くもつことは物事の達成のために非常に大切なことです。

4 自分のペースを大切に！

自分をしっかりと持ち、決して他人に流されないようにしましょう。受験勉強は一人一人違って当然です。他人と比べることに意味はありません。自分が信じた勉強を貫きましょう。

文理選択

1年生は文理選択が始まりました。右へ行くか左へ行くか、人生の分かれ道。悔いのない選択をしたいものです。学年集会の要点を確認します。

1 文理選択の手がかりになるものから考える（自分を知る）

- ①将来就きたい職業から（理想）
- ②興味のあることから（これもあり）
- ③得意教科や好きな教科から（これもあり）
- ④不得意教科や嫌いな教科から（参考にはなるが決め手ではない）

2 重点的に勉強する科目から考える（相手を知る⇒受験科目を調べる）

国・数・英の3教科は必須として、それに加えて

- ①化学と物理 or 生物を専門的に勉強する（+地理）のが理系
- ②日本史 or 世界史を専門的に勉強する（+生物基礎・化学基礎）のが文系
というように分けられるとも言えます。

3 ポイント

- ①希望のある積極的選択をすること
- ②決めるときも大事だが、実は決まった後の方がもっと大事
- ③一度決まれば変更はできない

4 大学を知る

高校は通過点であって、大事なのは次の進路です。つまり大学。大学が就職に直結します。自分の大切な青春の4年間を過ごす場としての大学をどう選ぶか。これも人それぞれなので、自分で調べて自分で考えて自分で決めるしかありません。もちろん、いろいろな人からのアドバイスを参考にしながらということになります。

大学を知るために…大学の個別説明会、つまり、オープンキャンパスに参加しましょう！オープンキャンパスの案内は南館2Fのエレベーターホールにあります。必要な資料は自由に持ち帰ってよろしい。部活動などで、オープンキャンパスとタイミングが合わなければ、独自で行ってみるという手もあります。オープンキャンパスのように案内はしてもらえませんが、大学の構内には比較的自由に入れることが多いです。事前に電話で確認してから行くと良いでしょう。